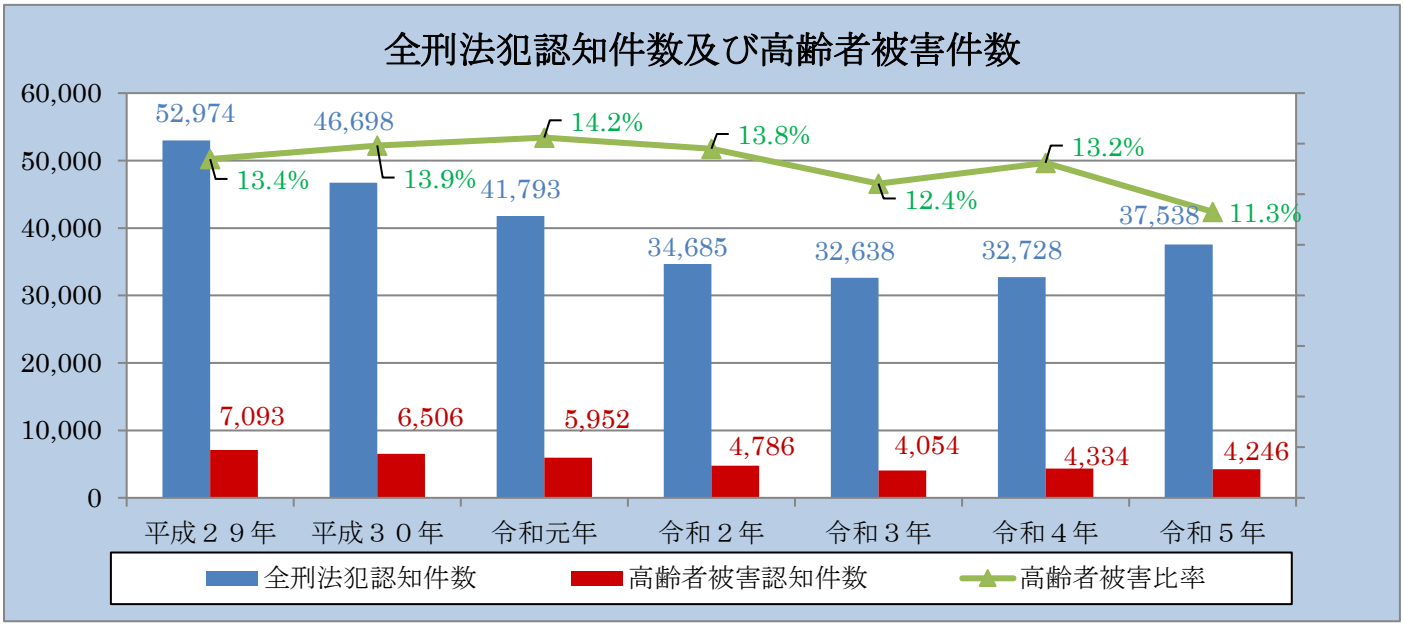
高齢者の犯罪被害等の推移

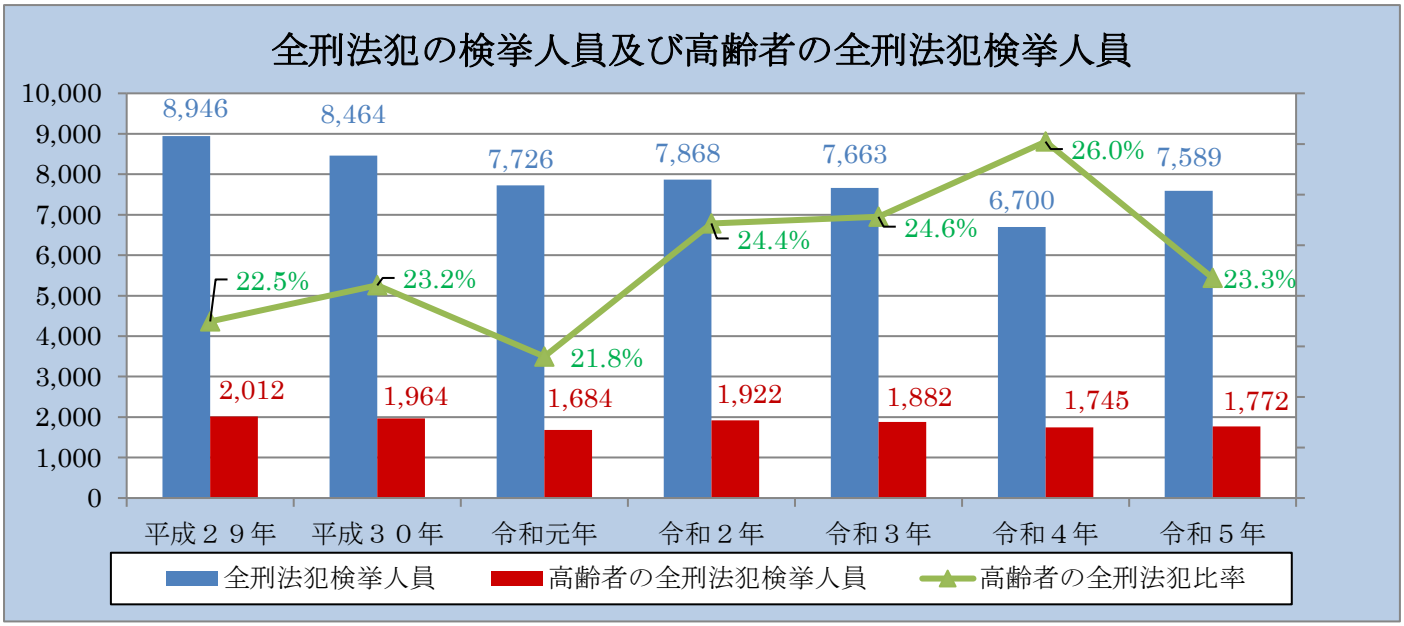


○　全刑法犯認知件数は令和４年以降２年連続で増加しているが、令和５年中の高齢者被害認知件数は前年と比べ、約２．０パーセント減少している。

○　令和５年中における高齢者の被害件数及び全体に占める割合

　　被害件数　４，２４６件（前年比－８８件）

　　高齢者被害比率　約１１．３パーセント（前年比約１．９ポイント減少）



○　全刑法犯検挙人員は、前年と比べ、約１３．３％増加しているが、検挙された高齢者数はほぼ横ばいであることから、全刑法犯検挙人員に占める高齢者の比率は減少傾向である。

○　令和５年中に検挙された高齢者数及び全体に占める割合

　　検挙人員　　１，７７２人（前年比＋２７人、約１．５％増加）

　　高齢者比率　約２３．３パーセント（前年比約２．７ポイント減少）

○　検挙人員のうち、高齢者の割合が多い手口は万引き（３８．２％）、自動販売機ねらい（３３．３％）、放火（３１．８％）、置引き（３０．６％）となる。